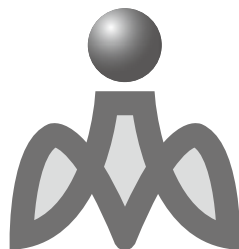


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔令和2年1月～3月実績〕  
〔令和2年4月～6月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

I 調 査 要 領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12



## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第4四半期 令和2年1月～3月期 「調査時点：令和2年2月1日」

### 3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービスマ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	52	165

### 5. そ の 他

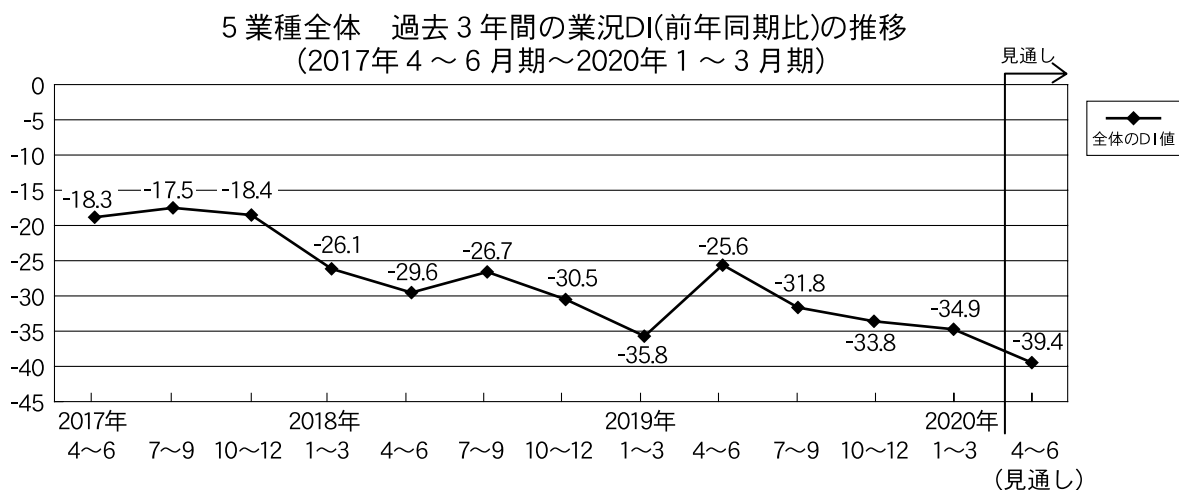
本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲34.9と前期比で1.1ポイント悪化している。来期については、▲39.4へとさらに悪化する見通しである。

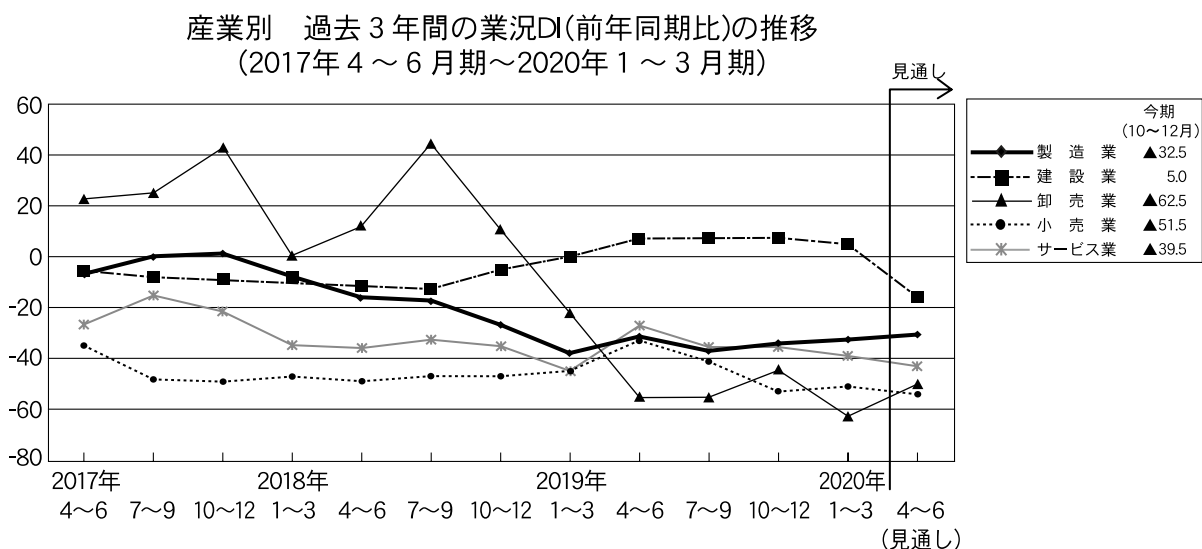


次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業が▲32.5と前期比で1.7ポイント、小売業が▲51.5と前期比で1.5ポイント改善している。

一方、建設業が5.0と前期比で▲2.5ポイント、卸売業が▲62.5と前期比で▲18.1ポイント、サービス業が▲39.5と前期比で▲3.0ポイント悪化している。

来期は、製造業、卸売業が今期より改善する見通しであるが、建設業、小売業、サービス業は悪化の見通しとなっている。



**【注記】** 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの121企業を含めた286サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

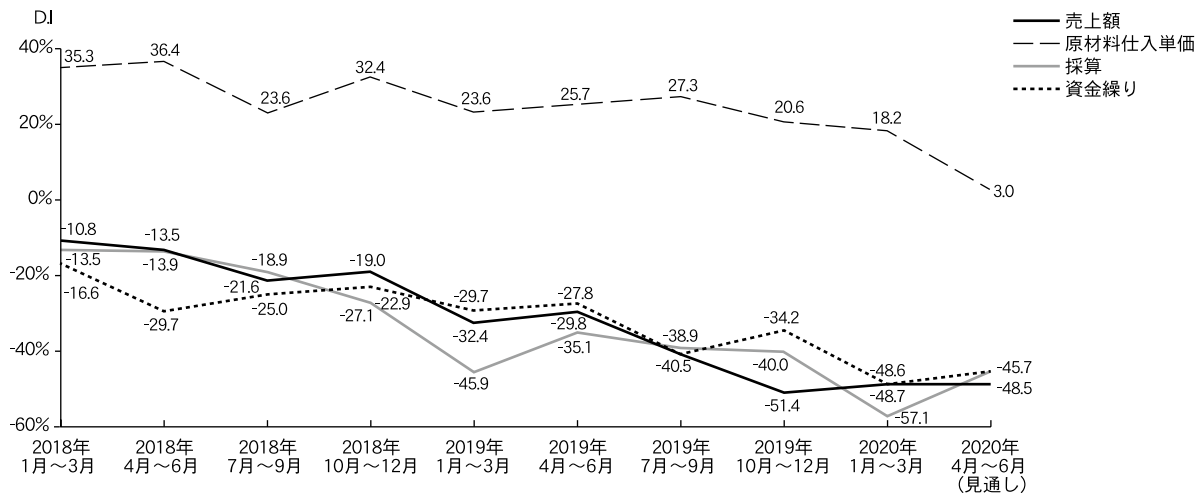
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲48.7と前期比で2.7ポイント改善しており、来期も▲48.5と僅かではあるが改善の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期は18.2と前期比で2.4ポイント下降（改善）しており、来期は3.0とさらに改善する見通し。採算D Iは、今期は▲57.1と前期比で17.1ポイント悪化しているが、来期は▲45.7と改善する見通し。資金繰りD Iは、今期は▲48.6と前期比で14.4ポイント悪化しているが、来期は▲45.7と若干改善する見通しである。

今期は、売上額D Iと原材料仕入単価D Iが改善する一方、採算D Iと資金繰りD Iは悪化している。一方、来期は、全てのD Iが改善の見通しである。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



### (2) 主な項目で見る業況

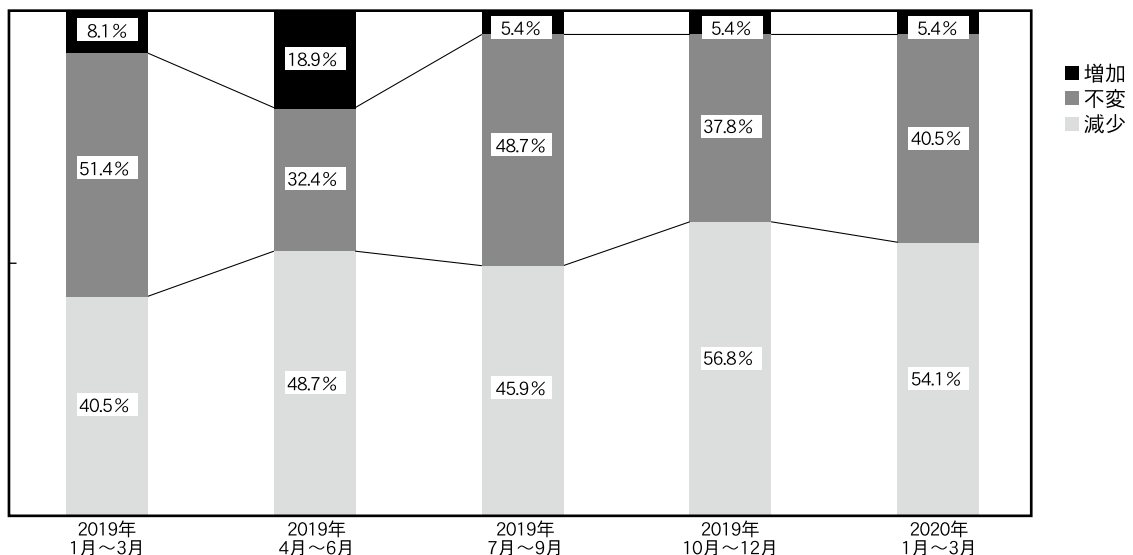
#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、5.4%（2社）と前期から変化なし。

「不変」は40.5%（15社）と増加（前期比+1社）、

「減少」は54.1%（20社）と減少（前期比▲1社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数35社））

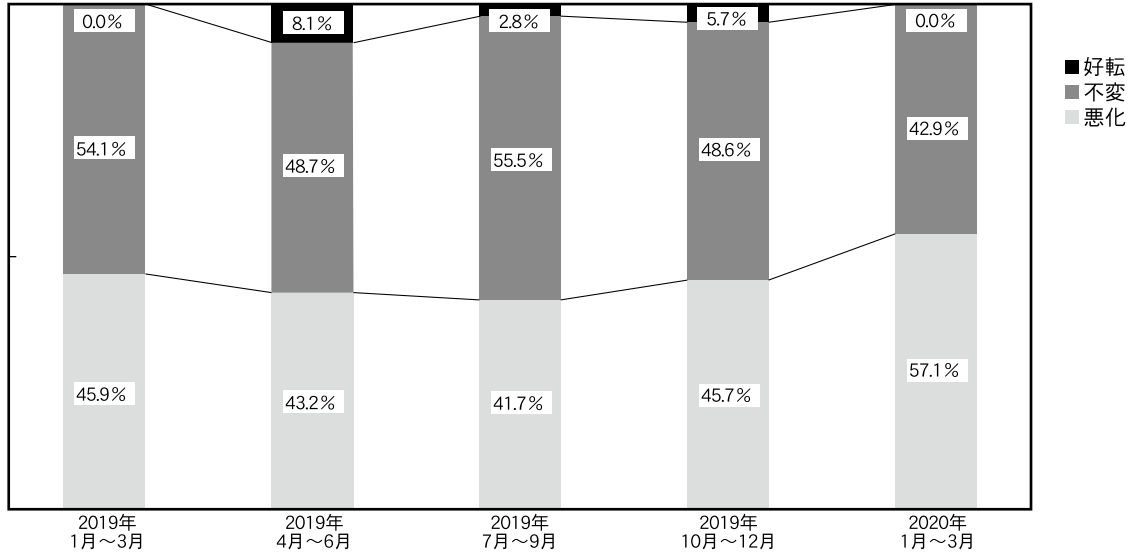
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、0%（0社）と減少（前期比▲2社）している。

「不変」は42.9%（15社）と減少（前期比▲2社）、

「悪化」は57.1%（20社）と増加（前期比+4社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

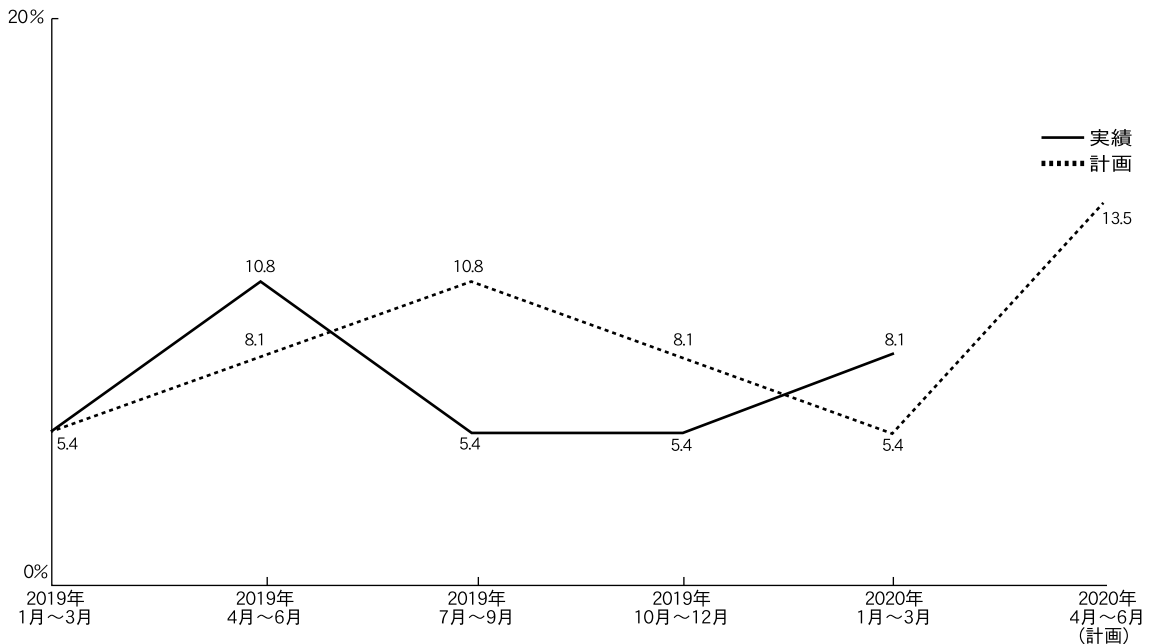


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は8.1%（3社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が2件、「生産設備」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、13.5%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「生産設備」「その他」が2件ずつ、「工場建物」「福利厚生施設」が1件ずつになる。

山梨県 製造業 設備投資の状況





④ 経営上の問題点（回答企業数31社）

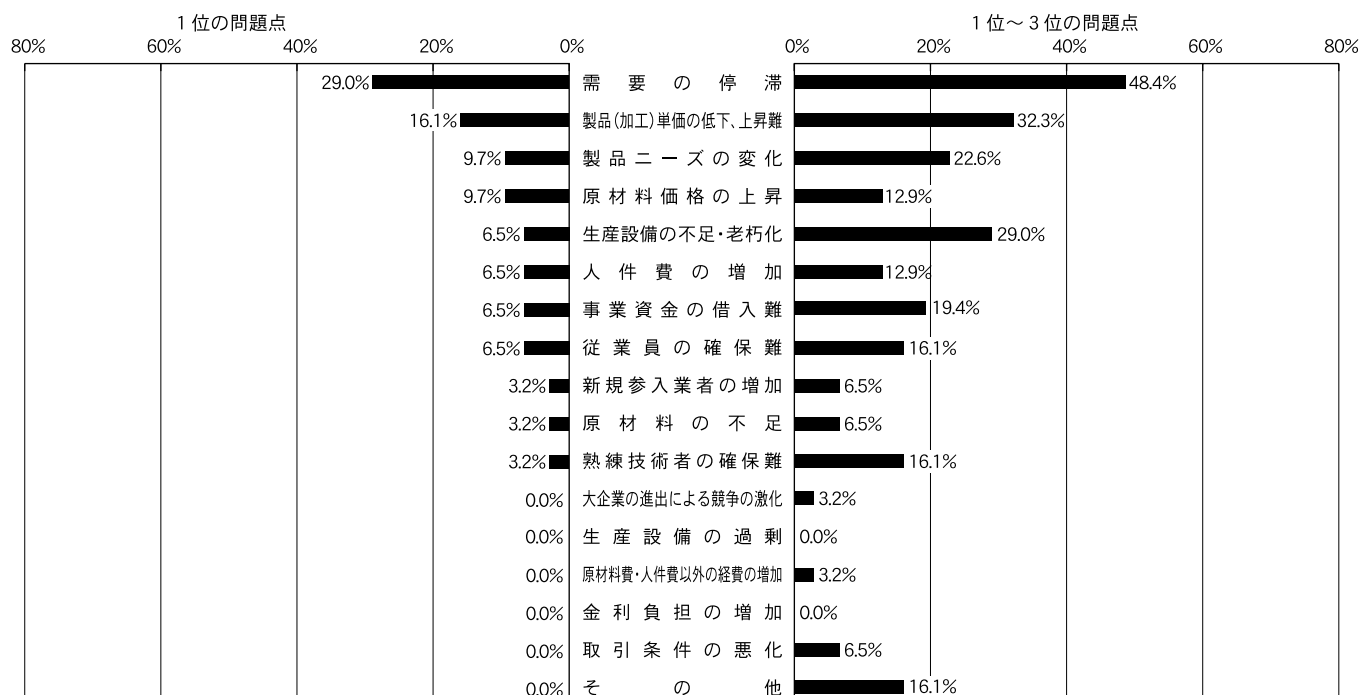
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の29.0%（9社）であり、2番目は、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の16.1%（5社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の48.4%（15社）であり、2番目は、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の32.3%（10社）である。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.5
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	4	10.8
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	4	10.8
金属製品製造業	2	5.4
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	3	8.1
輸送用機械器具製造業	0	0.0
その他製造業	4	10.8
合計	37	100.0

従業員規模別

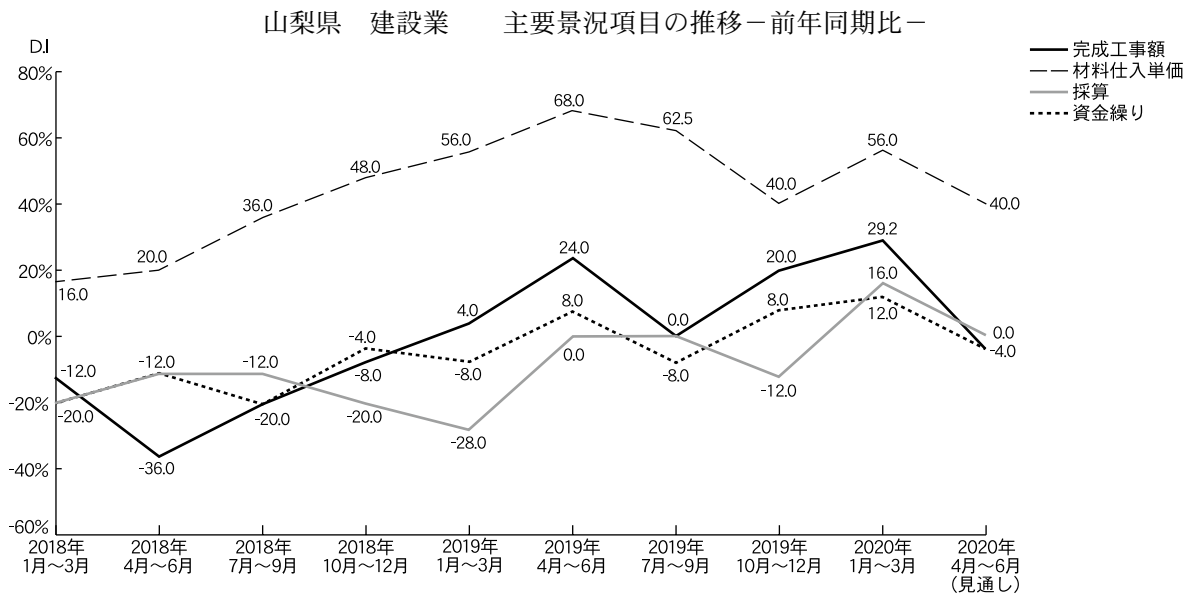
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	18	48.6	16	43.2
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	9	24.3
11人～20人以下	4	10.8	5	13.5
合計	37	100.0	37	100.0

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期は29.2と前期比9.2ポイント改善しているが、来期は▲4.0と大きく悪化する見通しである。材料仕入単価D Iは、今期は56.0と前期比16.0ポイント上昇（悪化）しているものの、来期は40.0と低下（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は16.0と前期比28.0ポイント改善しているものの、来期は0.0と悪化する見通しである。資金繰りD Iは、今期は12.0と前期比4.0ポイント改善しているものの、来期は▲4.0と悪化する見通しである。

今期は、材料仕入単価D Iを除いて改善している。来期は、完成工事D I、材料仕入単価D Iを除いて悪化の見通しである。



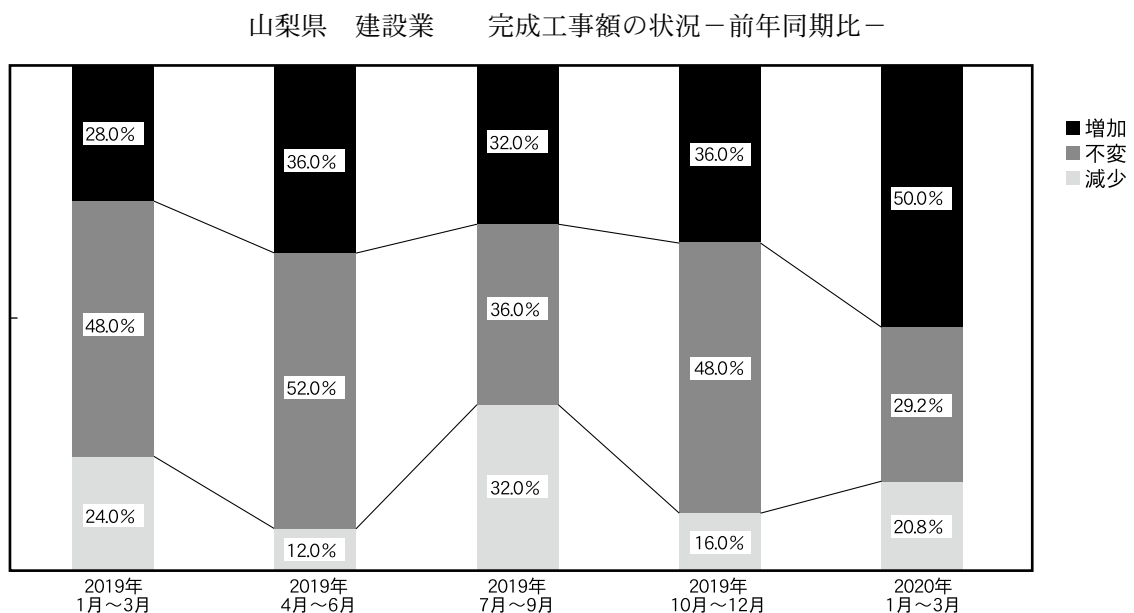
#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数24社（前回25社）））

「増加」と答えた企業の割合は、50.0%（12社）と増加（前期比+3社）している。

「不変」は29.2%（7社）と減少（前期比▲5社）、

「減少」は20.8%（5社）と増加（前期比+1社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

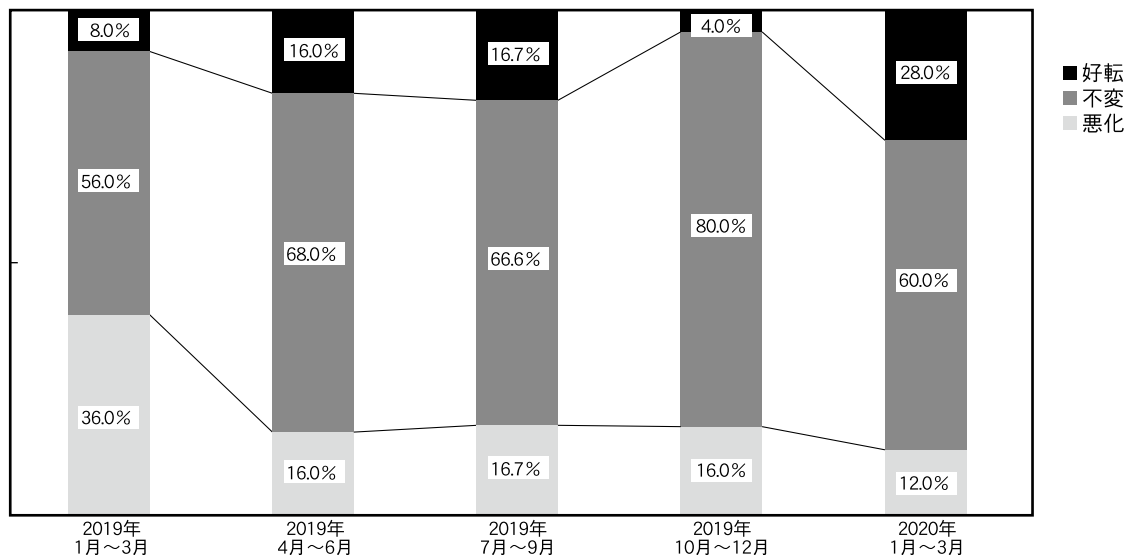
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、28.0%（7社）と増加（前期比+6社）している。

「不変」は60.0%（15社）と減少（前期比▲5社）、

「悪化」は12.0%（3社）と減少（前期比▲1社）している。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

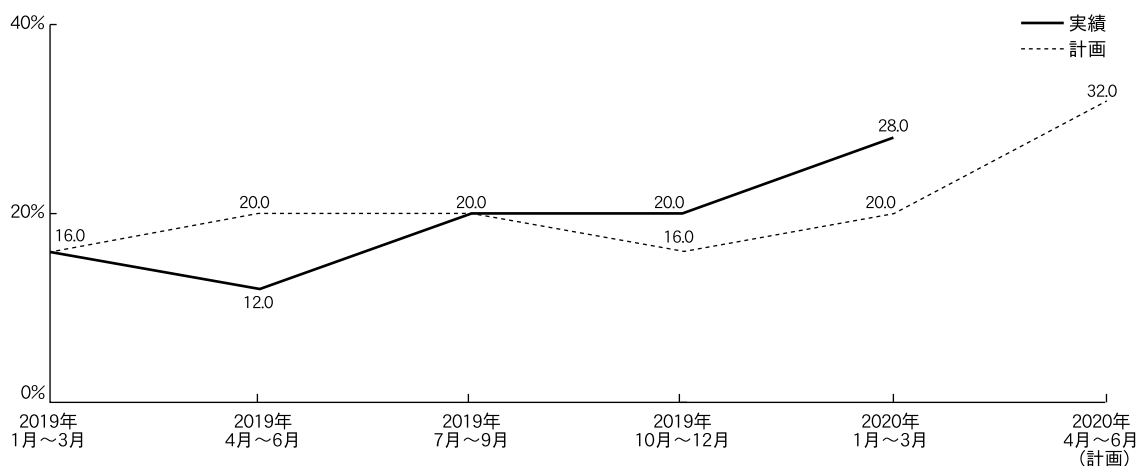


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は28.0%（7社）であった。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が6件、「建設機械」「OA機器」が2件ずつ、「土地」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、32.0%（8社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「車両・運搬具」「OA機器」が4件ずつ、「建物」「付帯設備」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



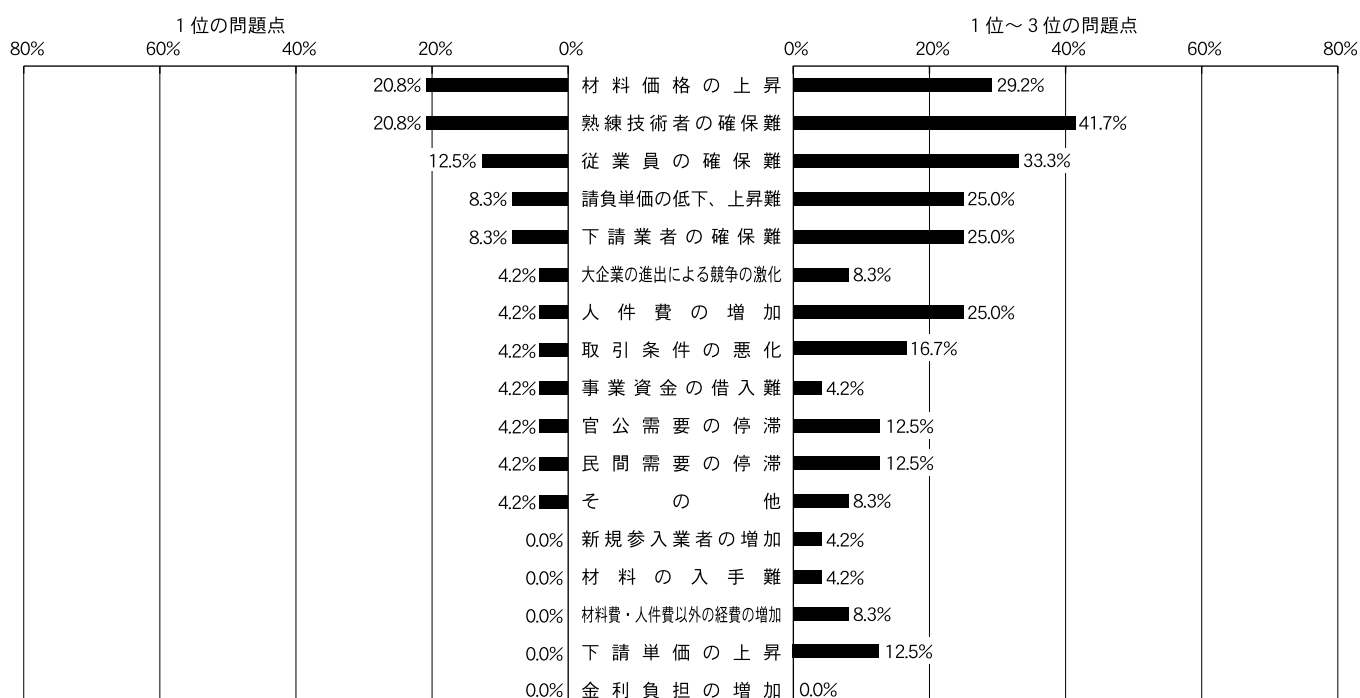
④ 経営上の問題点（回答企業数24社）

まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料価格の上昇」と「熟練技術者の確保難」との同率20.8%（5社）である。次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「熟練技術者の確保難」の41.7%（10社）であり、2番目に多かったのは、「従業員の確保難」の33.3%（8社）である。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	17	68.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	4	16.0
合計	25	100.0

従業員規模別

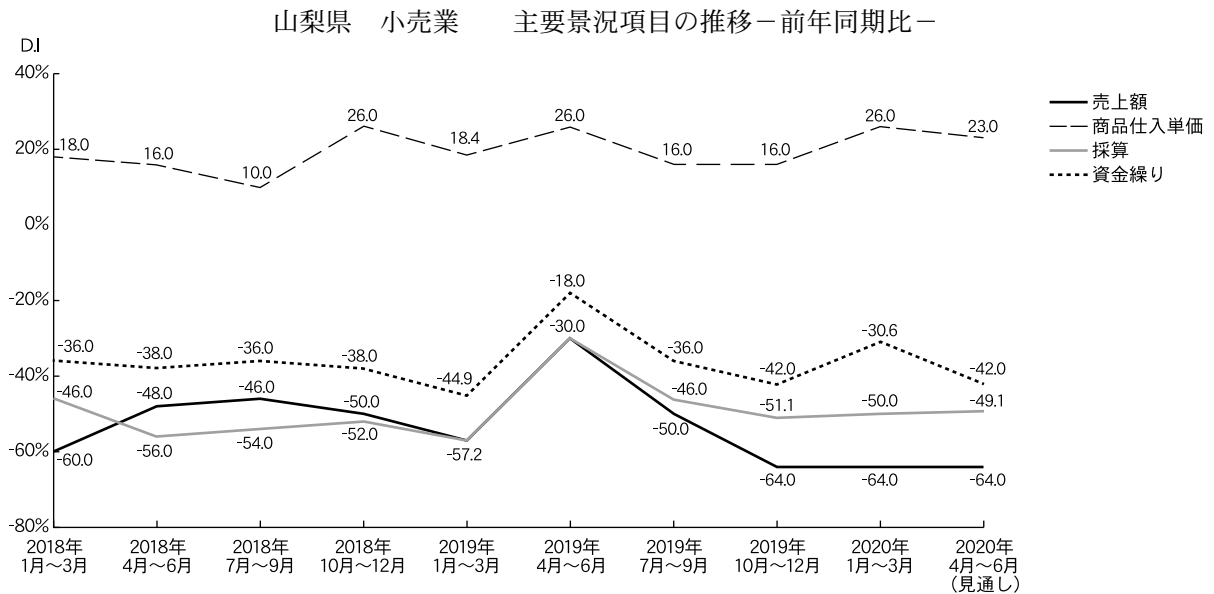
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(%)	構成比(%)
2人以下	10	40.0	8	32.0
3人～5人以下	5	20.0	7	28.0
6人～10人以下	4	16.0	4	16.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
21人～50人以下	1	4.0	1	4.0
合計	25	100.0	25	100.0

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲64.0と前期と変化なく、来期も▲64.0と変化なしの見通しである。商品仕入単価D Iは、今期は26.0と前期比で10.0ポイント上昇（悪化）している。一方、来期は23.0と下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲50.0と前期比で1.1ポイント僅かに改善しており、来期も▲49.1と僅かながら改善する見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲30.6と前期比で11.4ポイント改善しているものの、来期は▲42.0と悪化する見通しである。

今期は、材料仕入単価D Iを除いて改善している（売上額D Iは変化なし）。来期は資金繰りD Iのみが悪化の見通しである（売上額D Iは変化なし）。



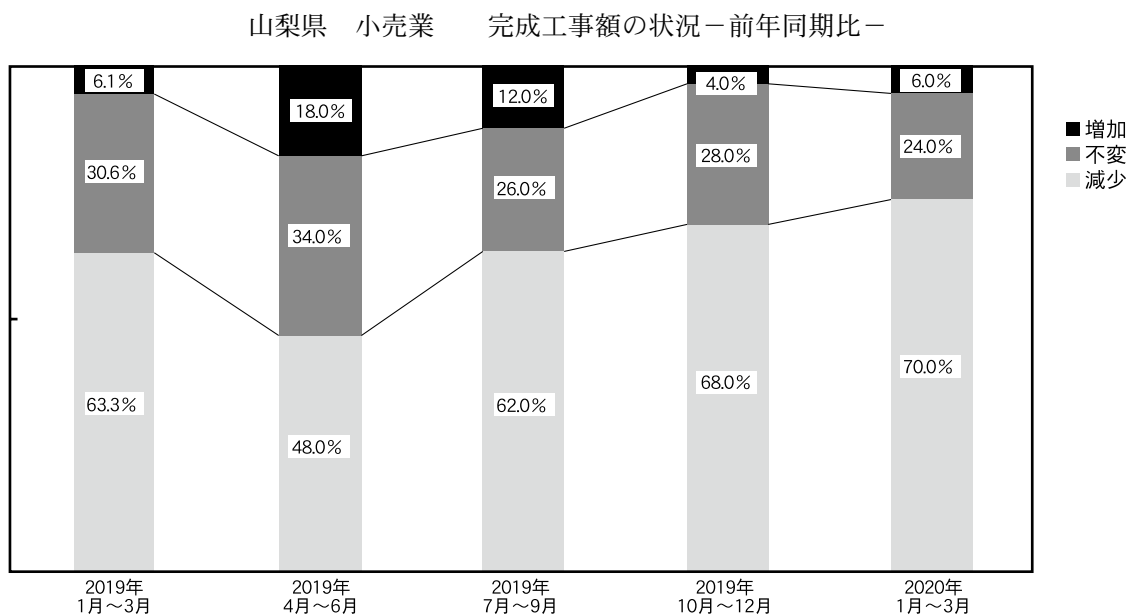
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、6.0%（3社）と増加（前期比+1社）している。

「不変」は24.0%（12社）と減少（前期比▲2社）、

「減少」は70.0%（35社）と増加（前期比+1社）している。



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数50社（前回49社））

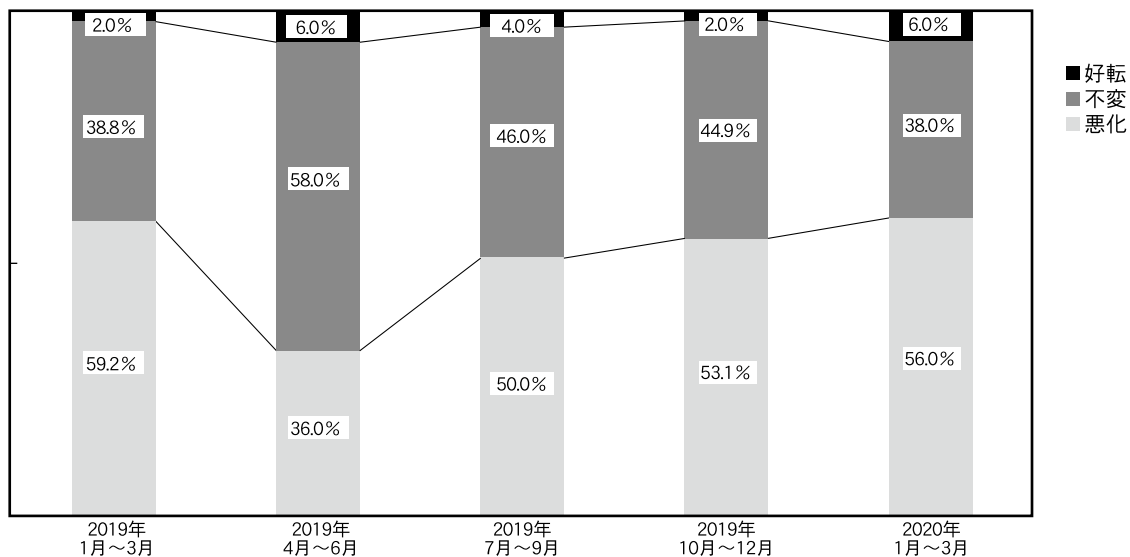
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、6.0%（3社）と増加（前期比+2社）している。

「不変」は38.0%（19社）と減少（前期比▲3社）、

「悪化」は56.0%（28社）と増加（前期比+2社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

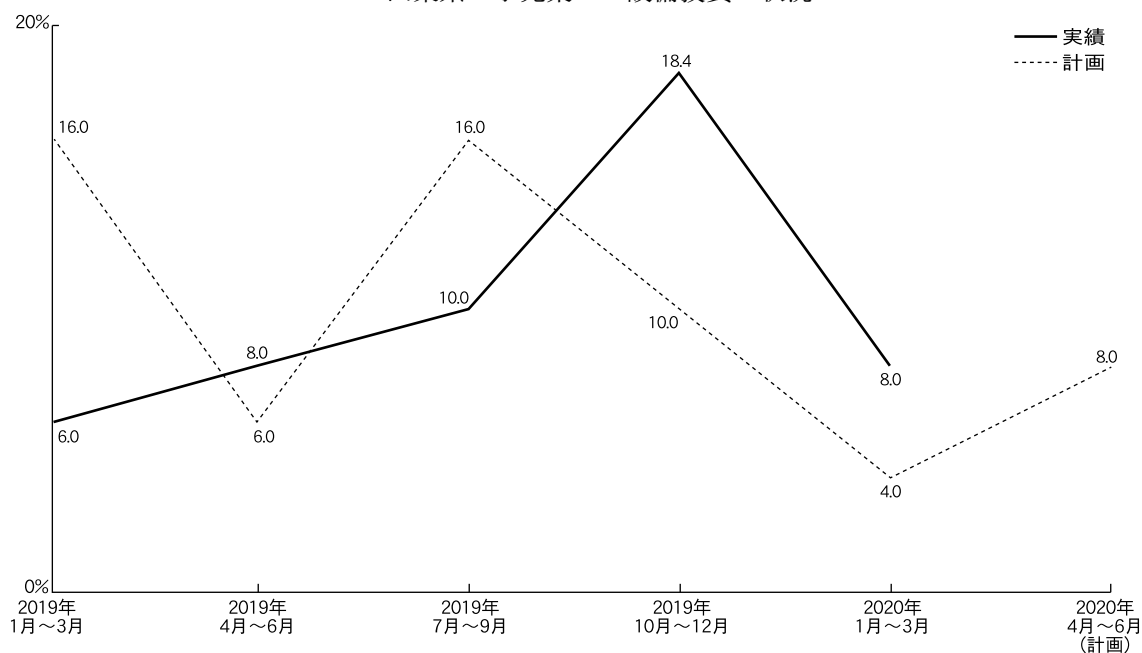


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社）

今期において、設備投資を行った企業の割合は8.0%（4社）であった。その設備投資の内容は、「土地」「車両・運搬具」「OA機器」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画についても、8.0%（4社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「店舗」が2件、「販売設備」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数48社）

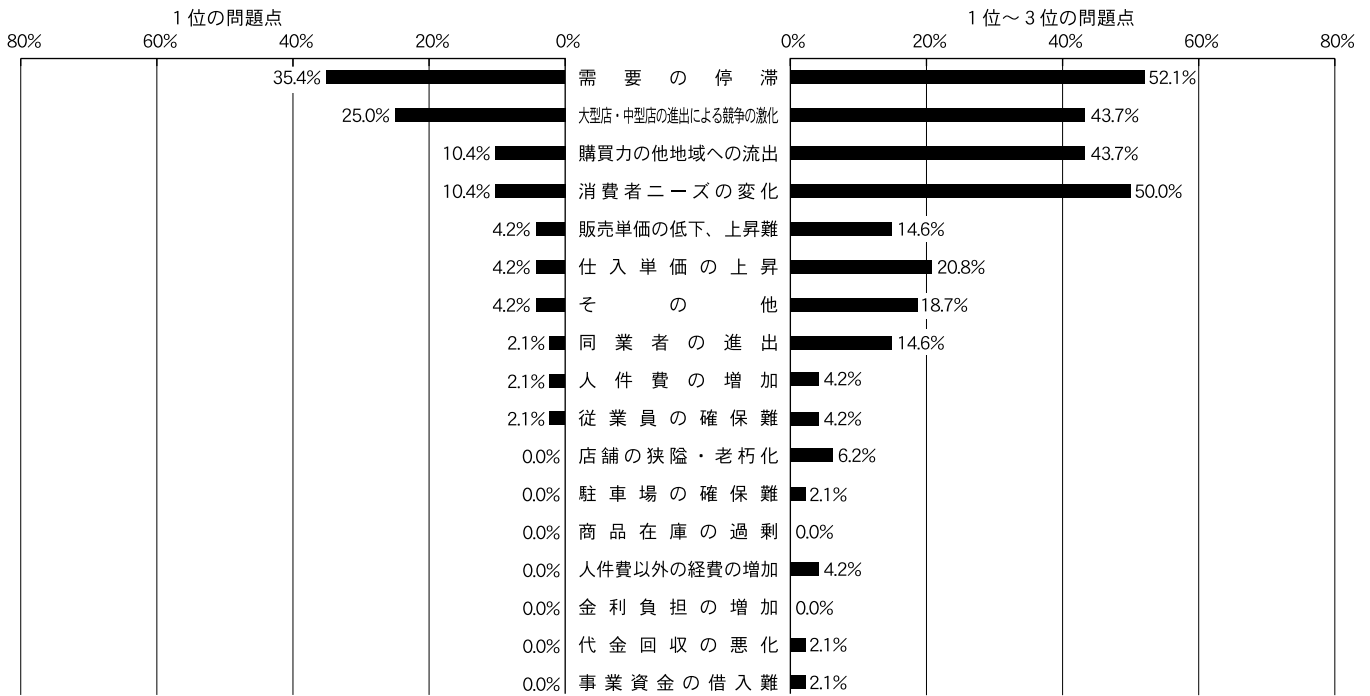
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の35.4%（17社）であり、2番目は、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の25.0%（12社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の52.1%（25社）であり、2番目は、「消費者ニーズの変化」の50.0%（24社）である。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	10	20.0
飲食物品小売業	17	34.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	17	34.0
合計	50	100.0

従業員規模別

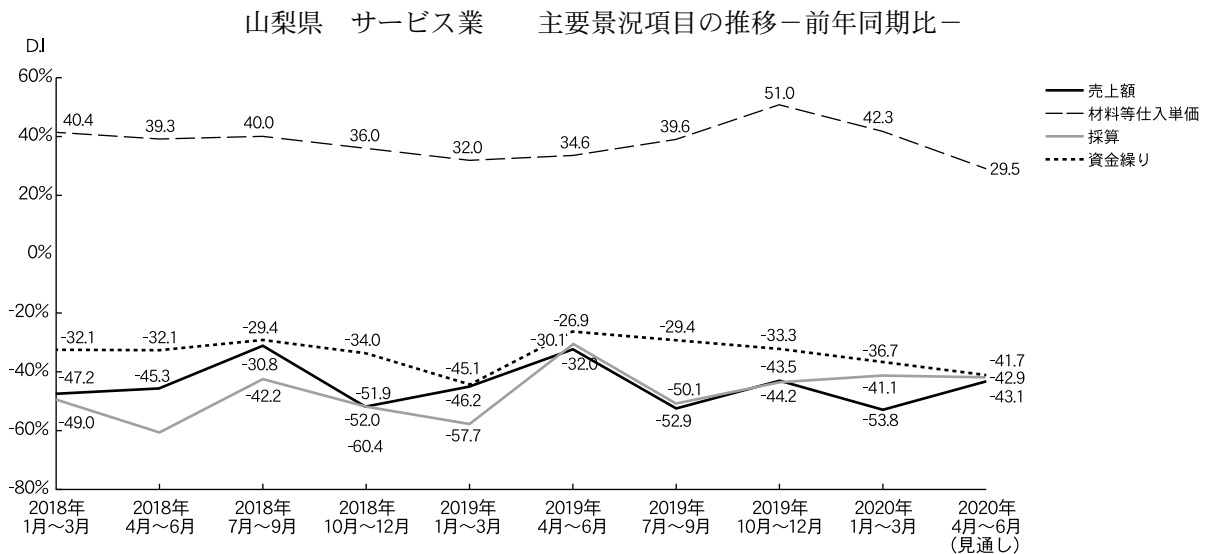
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	47	94.0	40	80.0
3人～5人以下	3	6.0	10	20.0
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	50	100.0

## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iは、今期は▲53.8と前期比で10.3ポイント悪化している。一方、来期は▲43.1と改善の見通しである。材料等仕入単価D Iは、今期は42.3と前期比で8.7ポイント下降（改善）しており、来期も29.5と下降（改善）する見通しである。採算D Iは、今期は▲41.1と前期比で3.1ポイント改善しているものの、来期は▲41.7と僅かに悪化の見通しである。資金繰りD Iは、今期は▲36.7と前期比で3.4ポイント悪化しており、来期も▲42.9と悪化の見通しである。

今期は、売上額D I、資金繰りD Iが悪化、材料等仕入単価D I、採算D Iが改善している。来期は、売上額D I、材料等仕入単価D Iが改善、採算D Iと資金繰りD Iが悪化の見通しである（採算D Iは、ほぼ横ばい）。



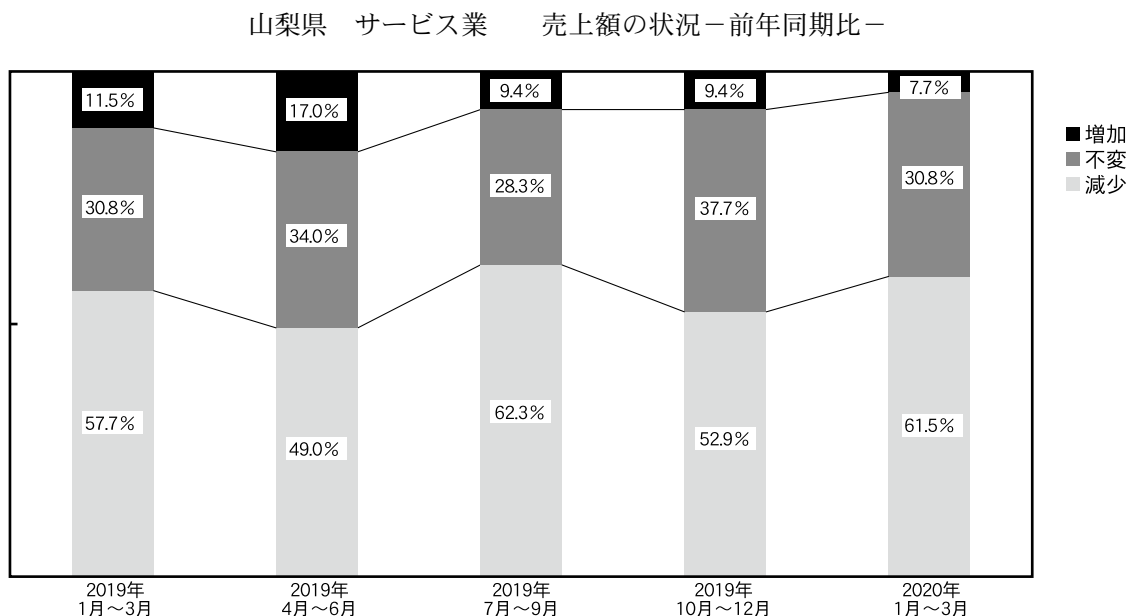
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数52社（前回53社）））

「増加」と答えた企業の割合は、7.7%（4社）と減少（前期比▲1社）している。

「不変」は30.8%（16社）と減少（前期比▲4社）、

「減少」は61.5%（32社）と増加（前期比+4社）している。





② 採算（採算D Iの内容（回答企業数51社（前回52社）））

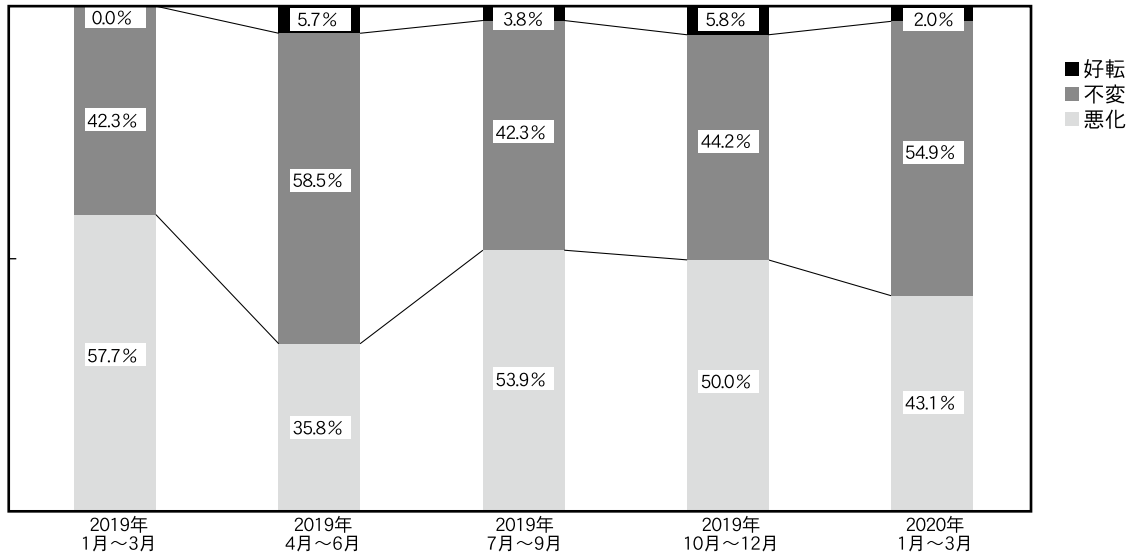
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、2.0%（1社）と減少（前年比▲2社）している。

「不変」は54.9%（28社）と増加（前期比+5社）、

「悪化」は43.1%（22社）と減少（前期比▲4社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

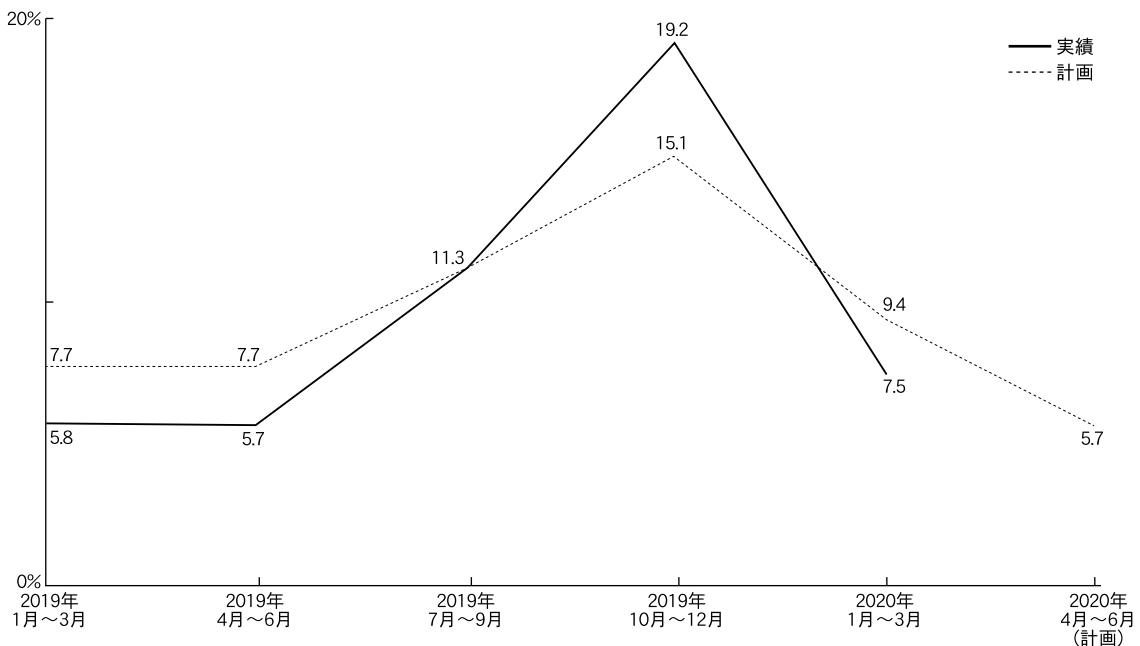


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は7.5%（4社）であった。その設備投資の内容は、「付帯設備」「OA機器」が2件ずつであった。

来期の計画については、5.7%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」が2件、「車両・運搬具」が1件になる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数45社）

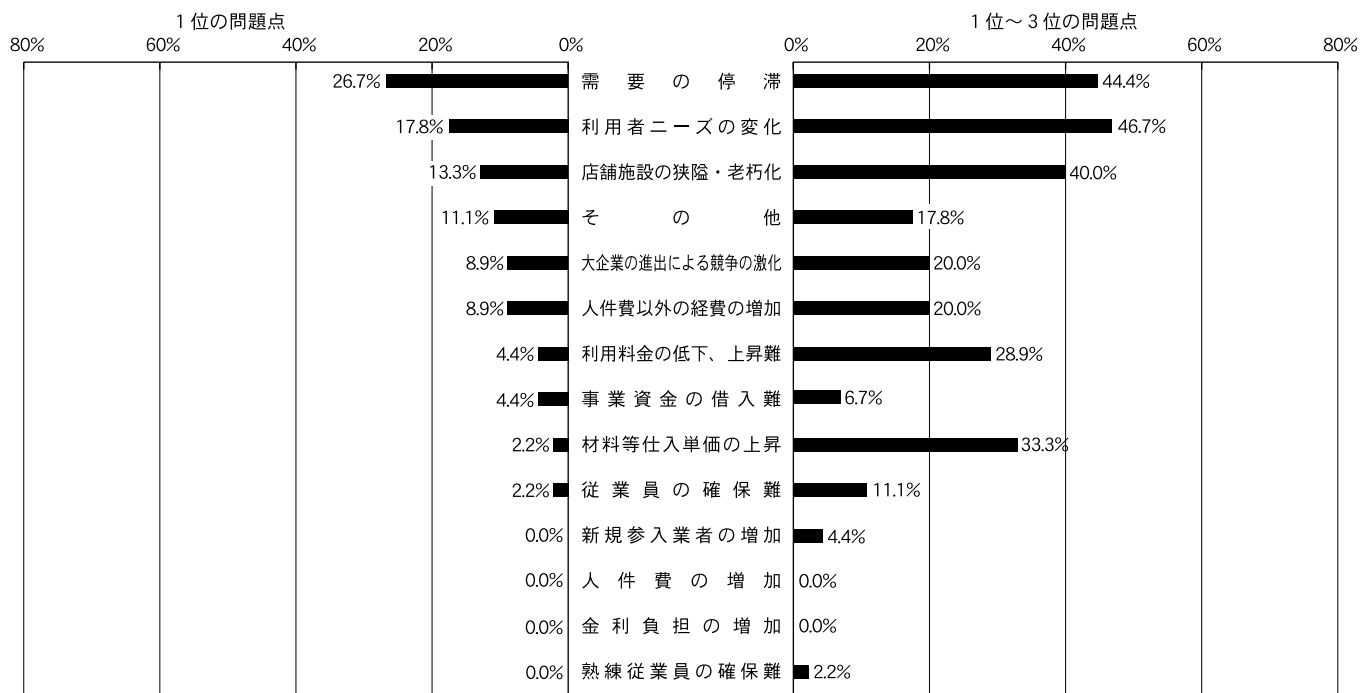
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の26.7%（12社）であり、2番目は、「利用者ニーズの変化」の17.8%（8社）である。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の46.7%（21社）であり、2番目に多かったのは、「需要の停滞」の44.4%（20社）である。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.8
宿泊業	7	13.2
運送業	2	3.8
自動車整備業	3	5.7
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数(%)	構成比(%)	企業数(%)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	41	77.4
3人～5人以下	8	15.1	11	20.8
6人～10人以下	0	0.0	1	1.9
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100.0	53	100.0